

## 中高年者の人間力と障害者の仕事づくり

青い鳥福祉会  
理事長 小野 隆二

青い鳥福祉会は埼玉県東松山市で 30 年にわたって知的障害者を中心とした障害者の福祉事業に取り組んできました。現在、知的障害者援護施設 2 ヶ所、精神障害者作業所 1 ヶ所、グループホーム 6 ヶ所の運営に当たっています。

この他に、生協との業務協定や企業との共同で障害者の就労支援事業（仕事づくり）をしてきました。就労支援事業は在宅障害者、施設利用者を含め、障害の種別にこだわらずに障害者の仕事づくりをしようとスタートしたものです。

就労支援事業の主力を担っているのは中高年者です。野菜・米づくり、産直事業、さいたまコープ桶川事業所のシッパー作業、市の運動公園の清掃管理、ブドウ園の管理作業、施設の清掃作業、業者との提携による花の栽培などで中高年者をリーダーにして障害者と一緒の労働集団を作っています。

こうした形態を採り始めて 4 年になります。きっかけは知的障害者の授産施設「あかつき園」での生産活動を安定させるために、中高年の持っている技術の導入を図ったことです。当初は職員の補助的な仕事をお願いすることが中心でしたが、現在では中高年の人たちが中心になって独立した労働集団になってきました。

あかつき園は 20 年来、地域の休耕農地を活用して米づくり、野菜づくりをしてきました。年々地元からの農地の活用の依頼が増えてきているので、これに少しでも応え、かつ障害者の仕事づくりをしてきました。販路の拡大のため産直事業や、学校給食センターへの納入、さらに県立こども動物公園への供給など新しい分野への販路の拡大を図ってしました。

こういう仕事づくりをしていく上で、「施設の仕事 - 障害者と職員の労働集団」から一歩進めて、「中高年と障害者」の労働集団をつくり、もっと仕事の分野を広げていける可能性が開けてきました。

これまでの経験では、中高年者が持っている技術力と永年培ってきた人間力が生かされているように思えます。